



復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。



椿のたね拾いバスツアーでふるさと巡り

復興みなさん会が主催する「椿のたねっこ拾いバスツアー」が10月30日、志津川中央公営住宅の入居者など18人が参加して行われました。志津川上山八幡宮や袖浜の「北の恋人岬公園」、歌津館浜の津龍院の近くの道路脇で椿のたね拾いをしました。また、震災復興祈念公園も訪れ、全体開園前に「みらいの森」に植えた椿の苗木の様子を確認しました。昼食時には入谷の「農漁家レストラン松野や」に移動。貸切で「海鮮はっと汁の定食」をいただきました。

高台移転団地集会所で「小さなたがい市」

戸倉沖田の防災移転団地集会所広場で10月9日、NPO法人ウイメンズアイが主催する「小さなたがい市」が開かれました。屋外のテントには、お弁当や惣菜、まんじゅう、餅、団子、手作りパン、自然卵のクレープを売るお店など6店舗が出店。入居者や近隣の住民など約100人が来場し、買い物を楽しみました。戸倉小の1年生も生活科の授業で見学に訪れました。受付では手指の消毒、検温、マスク着用が徹底され、連絡先の記入が求められました。



志津川東復興住宅で「秋の芋煮会」

志津川東復興公営住宅で10月1日、芋煮会が行われました。コロナ禍で、全ての行事やイベントが中止になる中、みんなで工夫して何かできないかと、同住宅の入居者で組織する「男性のための料理教室」（渡辺博代表、18人）のメンバーが企画。「ほほえみの会」の女性役員がお手伝いをしました。集会所の調理室は利用せずに、縁側にガスや調理器具を用意して炊事し、密を避けて公園内の四阿で試食会。「作って・食べて・つながる」交流をしました。



高台移転団地で干し柿づくり

歌津地区の防災集団移転みねはた団地の集会所で10月28日、干し柿づくりが行われました。団地の入居者で作る「いきいき会」（三浦みき子代表、会員15人）が会員に呼びかけて実施したもので、8人が参加しました。山形県の農家から提供された庄内柿およそ500個を、1個1個ていねいに皮を剥き、カビ防止のため熱湯にくぐらせ、へた部分を糸を通して吊りました。集会場の軒下には、秋の日差しを浴びてきれいな“柿すだれ”ができました。



コロナに負けない！

地域に寄り添う団体紹介

第2回 一般社団法人 カリタス南三陸

町内で活動を続けていらっしゃるカリタス南三陸代表理事の千葉道生さんにお話を伺いました。

—いつから、どのような活動を？

2011年4月に活動を開始。最初は避難所のお手伝いや町の片づけでした。地域に寄り添うように心がけ、お茶っこ会や個別訪問、農業・漁業のお手伝い、障がい児や子どもの見守りやモアイづくりなどを行っています。日本と世界中から約9年半で19,300人程のボランティアさんが来てくださいました。

—活動の拠点と運営スタッフは？

登米市東和町の米川に拠点があり、ベースと呼んでいます。スタッフは多い時で5人で、現在は3人です。

—新型コロナの影響は？

お茶っこの中止が続き、ボランティアの受入れは状況によって対応していますが、南三陸に来たくても来られない方が大勢いらっしゃいます。地域でも都心でも、コロナで苦しんでいることや、日々の暮らしぶり、悩みなどを話してくれる方が少なくありません。



(右から千葉さんとスタッフの白石さん、小野寺さん)

—コロナ時代にはどんな対応が必要ですか？

過度に恐れる事なく、リスクを考慮しながら信頼しあえる緩やかな関係性を一人ひとりと築いて行く事だと思います。

—地域の人々へのメッセージは？

地域の繋がりが求められている今、元々南三陸で大切にしてきた「結いっこ」が、日本中に広がっていったら嬉しいです。今後も地域を大切にしながら、開かれた町であることを願っています。

春先からコロナ禍で社会の動きがすっかり止まってしまいました。町内の災害公営住宅では外部からの支援団体の訪問が途絶え、三密の回避が難しい行事・イベントは全て中止となっています。集会所での活動も自粛で、かろうじてラジオ体操が屋外で行われている程度ですが、それすらも寒さが募ってきているのでいつまで続けられるか心配です。このままでは多くの人が孤立を深め、精神的な落ち込みや体調悪化が避けられません。人は、他人と交わり、会話し、ともに行動することに生きがいを見いだします。これから寒くなると感染者が増えるという懸念もあります。感染防止の対策を万全にしなからリスクを減らす工夫をし、入居者のつながりが持てるような取り組みを続ける必要があります。

【雑感】

当会は、中日新聞社会事業団東日本復興支援金、県共募みやぎチャレンジプロジェクト、仙台銀行まちづくり基金、みやぎ地域復興支援助成金、おらほのまちづくり支援事業および東日本大震災現地 NPO 応援基金[緊急助成]のご支援をいただき活動しています。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com